

おはようございます。

梅雨時だから仕方がないとは言え、今日の雨は本当に残念です。でも、姿を見ることはできませんが、新入生360人を迎え、約1080人の全校生徒がようやくそろいました。

さて、私たちは3ヶ月以上にわたって、通常の学校の活動ができませんでした。当然ながら、この時期に行うべきほぼ全ての行事も実施できませんでした。こんなことは、第2次世界大戦後、新制の神戸高校が誕生してから一度もなかったことです。

そんな危機的状況の中で、生徒諸君も、先生方もよく頑張った、頑張ってくださったと思います。例えば、臨時休業中の面白い取組、バーチャルの世界で神戸高校校舎を作ったり、NHK杯なるものを開催したりしたことが、新聞で紹介されました。

また、まだ報道はされていませんが、1年4組の船江さんは、百枚以上のマスクを手作りして児童養護施設に送ってくれました。とてもうれしくなる話です。

こんな底力のある皆さんに、お願いしたいことがあります。神高の歴史をつないでください、ということです。

本校の新入生は、入学式前から世話係の姿を見、その後も、行事で、部活動で、様々な場面で上級生の振る舞いを見て、「すごい、これが神戸高校、これが神高生だ。」と実感する。その一員になったことを誇りに感じ、上級生に負けないように頑張ろうとする。こうして、この素晴らしい神戸高校の歴史はつながってきたのです。

新学期に入ってからの2ヶ月のブランクは小さくはありません。上級生なら分かるでしょう。あれもこれもできなかった。でも諸君なら、今からでもつなぐことができる。

上級生は、これまで重ねてきた本校での経験、その記憶や思い、熱い心をどうかしっかりと新入生に身をもって示していただきたい。新入生も、上級生の振る舞いをしっかりと見て心を感じて、来年には次の後輩に示せるようにしてほしい。

新入生諸君を迎え、今また新しい歴史のつながりが始まったことを、みんなで一緒に喜びたいと思います。

最後になりましたが、本校伝統の世話係の諸君、もっともっと新入生のためにしたかったことがあったかもしれないけれど、制約がある中でよく頑張ってくれました。ありがとう。

以上で対面式にかえてのアセンブリーの挨拶とします。